

学校だより 学校教育目標：【夢をもち 未来を拓く】

令和7年10月1日

—確かな学力を身に付け 心豊かで 健康な子どもを育てる—



からべ karabe07

今年度の折り返し地点となります

10月14日から後期がスタートします。早いもので、あと2週間ほどで今年度の折り返し地点を迎えるわけです。前半を振り返ってみると、子どもたちが大きく成長したことがある一方で、新たな課題も見えてくるのではないのでしょうか。10月10日には前期のお子さんの学校における学習や生活の様子をお知らせする「あゆみ」を配布いたします。個別面談での担任からの話と合わせ、後期に向けての課題や目標をお子さんとはよく確認し、さらなる成長につなげてほしいと思います。

合唱部、TBS子ども音楽コンクールで優秀賞！



8/27(水)に合唱部がTBS子ども音楽コンクールに参加してきました。中学校が多数出場する中、中学生に負けない素晴らしい歌声を響かせ、優秀賞を受賞することができました。

10月は7日の青少年音楽祭、29日の二部会音楽発表会と2つの発表会に参加します。また、26日の加良部地区敬老会でも昨年度に続き、出演の依頼を受け、歌声を披露することとなりました。日頃の練習の成果を発揮し、芸術の秋を盛り上げてほしいと思います。

【10月の広報なりたで加良部小合唱部の活動が掲載されます。是非ご一読ください。】

9月の思い出

3年生校外学習 西部防災センター＆現代産業科学館



1年生校外学習 葛西臨海水族園



5年生宿泊学習 水郷小見川青少年自然の家



第2回学校運営協議会

9月19日に第2回学校運営協議会が開催されました。協議の中で、生成AIの教育利用についての教育効果と懸念について話し合いが行われました。協議員の皆様からは「これからの時代の必要性から上手に活用していくことが大事である。」といったご意見とともに、「答えを簡単にもらってしまい多様な意見を受け入れなくなってしまうのではないか。」「親が生成AIをよくわからずに子どもたちが使用することが不安である。」といった懸念も示されました。様々な意見が交わされる中、「これからの時代を見据え、親も子どもも生成AIをよく知った上でどうつきあっていくかを考えていくことが大事である。」とのご意見をいただきました。加良部小学校は文部科学省指定の生成AIパイロット校として将来を見据え、どのように保護者のみなさまと子どもたちに生成AIへの理解を広げ、効果的に教育利用ができるかを今後も考えていきたいと思ひます。

校長室より

【アンコンシャスバイアス】

夏季休業中の教職員研修で「アンコンシャスバイアス」について学ぶ機会を得た。「アンコンシャスバイアス」とは、何かを見たり聞いたりしたとき等に、「無意識に“こうだ”と思い込むこと」を意味する。「最近の子供は・・・」等とひとくくりに決め付ける“ステレオタイプ”、「これくらいなら大丈夫だろう」と過小評価しがちな“正常性バイアス”、偏った情報をもとに「そのとおりだ」と周りの人と言動を合わせてしまう“同調バイアス”など多岐に渡るという。アンコンシャスバイアスは誰にでもあり得るものであり、人が社会生活を営む上で危険を予測したり無用な対立を避けたりするなど、有益に働くことがある。一方で、意図しないうちに負の方向に作用する言動を生み出す可能性も秘めている。まずは、自分の傾向に気付き、ちょっと立ち止まって対応を考えるとよいかも。詳しく知りたい方は、一般社団法人「アンコンシャスバイアス研究所」で検索。